

自然災害に立ち向かう木造建築

自然災害に立ち向かう木造建築

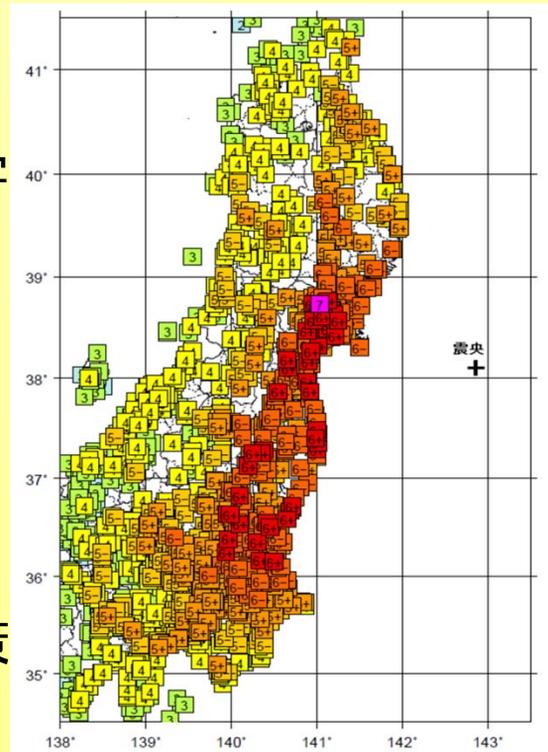


東日本大震災では、地震だけでなく津波による被害が甚大でした。木造建築は自然災害にどう立ち向かっていくべきなのか、様々な角度から考えたいと思います。

普段生活している住まいの安全性について、真面目に考えたことがありますか？

自然災害は、地震や台風だけでなく、津波、土砂崩れ、竜巻、火山など様々な種類があり、全ての災害から完全に逃れて生活することは不可能です。従って、普段から自分の住まいの安全性について関心を持ち、できる事から対策を講じることが重要です。

特に、その発生場所や規模が予測することのできない地震への対策が最も重要でしょう。耐震補強などを行って安全性を高めることは、他の台風や津波などの災害に対しても有効な手段になります。



2011年東北地方太平洋沖地震における震度分布



2011年東北地方太平洋沖地震における被害例（地震による被害）



2011年東北地方太平洋沖地震における被害例（津波による被害）